9月　くまぐみクラスだより

令和８年　９月１５日発行　　担当　大島優子

セミの声が遠ざかり、季節の移り変わりを知らせるように子ども達は「セミがいなくなってるー」と少し寂しそうに言いながらもトンボを見つけると「トンボー！」と嬉しそうな表情で小さな秋を発見しています。日中は暑さが残りますが、時折心地のよい涼しい風が吹き抜け秋の訪れを感じられるようになりました。夏ならではのプールに水遊び、虫や草花に触れ夏の思い出が沢山できたようです。また、今年は一段と暑さが感じられ台風も多く発生しました。「台風が来るから心配だねー」と保育士の会話に耳を傾け聞いている子ども達「台風の目」に関心をもち台風の日は安全に過ごす意味を知る姿が見られました。

生活面では、毎日の繰り返しの中で自分で,できることが増え「できなーい、てつだって」と言っていた子ども達も「自分でできた！」と自信に満ちた表情を見せ、着替えや片づけを最後までしようとする姿に成長を感じています。「自分でやりたい！」という気持ちを受けとめながら、身の回りの簡単なことや遊びを通じて「できた！」という達成感を育み成長を見守っていきたいと思います。





たくさんの穴発見！
この穴はなんだろう…？
掘ってみよう！

土の中からセミの幼虫が出てくることを知りました。





園庭で動かなくなったセミを見つけた子ども達「セミが動かないよー、かわいそう、うーとーとーする」と声があり土の中に返してあげることになりました。

みんなで手を合わせて「またね～」と優しく声かける姿が見られました。虫や小さな生き物を通して相手を思いやる気持ちや、いたわる心が育まれています。



カップに水を入れてジャーっと流すことを夢中になって遊ぶ子ども達♪まるで小さな研究者のようです。

夏のプール遊び

プール遊びでは、ダイナミックにホースシャワーを浴びたり、ワニ歩きでフープくぐりもしました。入水前には、絵カードを使用してプール遊びのルールを伝えながら保育士や友達と一緒に水に親しみをもって遊びました。



ワニさん歩き「ワニワニ～気持ちいな♪」



台風接近中

「台風には目があるよ」という保育士の言葉に興味をもった子が「先生、台風の日ってなに～？」のつぶやきをキャッチして台風の目の天気図を掲示しました。

子ども達に台風って何だろうと聞いてみたら「ビュービュー大きい風が吹くんだよ！」と手を動かして「木が揺れる」「雨が降る」など、子ども達が感じたことを言葉や動作で伝えていました。

シャボン玉遊び







キラキラ光るシャボン玉を「ふーっ」と吹いて、「みてー」「大きい、小さい」と言葉にしながら風に舞う様子を楽しむ姿が見られました。シャボン玉を吹く動作を通じて口の運動能力を高め呼吸のコントロールや言葉の発達が育まれます。



「へび～」「だんごー」ねんど遊び楽しいな～♪



ぺたぺた糊の感触を楽しみました！